

第 72 回全日本勤労者弓道選手権大会 石川県代表選考会

R7.3.15（土）於：石川県立武道館弓道場

3月15日午後から、青森県弘前市で開催される、全日本勤労者弓道選手権大会への2枚の切符をかけ、職域チームの熱い戦いが繰り広げられた。開会式で水橋会長より、これまでもいいところまでは行くがあと一歩ということが続いているようですが、皆さんは実力がある方々ばかりなので、是非予選会を勝ち抜いて本大会で活躍をしていただきたい。肌寒い中ではあるが、跳ね除けて頑張っていたきたいと激励の言葉を受け、競技が始まった。今回の出場チームは5チーム、競技方法は近的競技、1チーム3名、4つ矢3回の計36射的的中制（射距離28m、36cm霞的使用）により、総的中数上位2チームを県代表に選出します。



1回戦、3年連続の出場を目指す、北國FHD弓道部が幸先よく8中を記録、津田駒工業Bが6中と続いた。5年連続の出場を目指す金沢村田製作所弓道部は5中とスタートダッシュに失敗、2回戦からの巻き返しを図る。

小休憩の後、二回戦が開始、北國FHDが8中、計16中で首位をキープ。金沢村田製作所が7中、計12中と記録を伸ばせない中、津田駒工業Aが9中と計14中で追いこみをかけてきた。

どのチームが出場権を勝ちとるのか、プレッシャーとの戦いの中、勝負の3回戦が始まった。

北國FHDは7中、合計23中で終えた。金沢村田製作所は最後まで記録を伸ばせずに7中、合計19中で続いた。津田駒工業B、県庁は記録を伸ばせずに、ここで涙を吞んだ。残すは津田駒工業Aの結果にかかることになった。初矢を詰めて、万全の滑り出し、二本目大前が失中するも、中立と落ちが的中、この時点で2位金沢村田に並んだ。その後、失中が続くも7中で終了、合計21中として3年ぶりの出場が決定した。

【会長の講評】

代表に選ばれた2チームはおめでとうございます。県内でも切磋琢磨して2チームといえども厳しい予選がこれまでもありました。本大会では、あと一本という所で入賞を逃すということが続いていますので、是非とも今年は青森県で頑張ってきて欲しいと思います。

以前は残業、残業で練習どころではないという時代もありましたが、働き方改革ということで、定時退社や休暇取得など、時間が作れる時代になってきています。勤労者大会は3人集めれば参加することができるので、学生時代に弓道をやっていたという人に声をかけていただき、職域チームが増えてくることを望みます。



参加チーム紹介



北國 FHD



津田駒工業 B



県庁



金沢村田製作所



津田駒工業 A

成績

順位	チーム名	的中数
1 位	北國 FHD (園・小寺・佐々木)	23 中
2 位	津田駒工業 A (堂前・咲川・牧野)	21 中
3 位	金沢村田製作所 (足立・中村・前多)	19 中
4 位	県庁 (高山・岸田・後藤)	13 中
5 位	津田駒工業 B (角・中村・柊田)	10 中

「第 72 回全日本勤労者弓道選手権大会」に石川県代表として下記の 2 チームが出場。

令和 7 年 5 月 30 日～ 6 月 1 日に青森県弘前市で開催

代表チーム紹介

- ① 県代表決定の感想 ② 本日の結果分析 ③ 本大会へ向けての目標や課題 ④ 弓友に向けてのメッセージ

★北國フィナンシャルホールディングス★

- ① チーム自体あまり調子が良いわけではなく、正直なところ県代表になれたのが驚きでした
- ② 落ちは期待通りの働き、2 番は実力を発揮できず、大前は的中はともかく内容がイマイチでした
- ③ 本番で安定して 7 割 5 分を出せるよう稽古時間を確保することが課題です
- ④ 優勝できるよう頑張ります



左から 佐々木・小寺・園（北國フィナンシャルホールディングス）

★津田駒工業株式会社★

- ① 昨年、県予選で敗退しているだけに、第 1 段階を突破することが出来て良かった、ほっとしたというのが、正直な感想です
- ② 良く言えば、3 人がカバーしあったとも言えますが、客観的に言えば、チームとして噛み合っていなかったなという結果でした。予選を通ったとはいえ、的中も満足できる成績ではありませんでしたし、調整不足の部分は否めないと思います。
- ③ チームの目標としては、まずは 1 立ずつ、力を出し切れるように、本番に向けて調子を上げていきたいと思います。一昨年、同じメンバーで出場した同大会（全弓連中央道場で開催）では、決勝トーナメント進出決定の競射で敗退しているだけに、そこを突破して決勝へ進み、上位入賞を目指していきたいと思います。
- ④ 応援をよろしくお願いいたします！



左から 堂前・咲川・牧野（津田駒工業 A チーム）